

七面鳥やチキンやケ
ーキなどが食べられ
ています。日本



《弓削》	毎週水曜日 19:30	弓削中央公民館
《生名》	毎週火曜日 19:30	生名公民館
《岩城》	毎週木曜日 20:00	生活文化センター
《魚島》	毎週水曜日 19:30	魚島開発センター



と季節は逆で、クリスマスは真夏です。だから、私達はよくクリスマスマ스에海に行って水泳します。また、季節が逆なだけじゃなくて、天気も大分違ひます。パースの夏はほとんど毎日気温が40度で、太陽がとても強いです。外に行けばサングラスは必要です。一方で、冬は日本ほど寒くないですが、雨がたくさん降ります。

すごく寒くなったら、皆は暖房ヒーターを使います。日本のようなコタツはないです。

次は、食事の違いです。私は嫌いな物があまりないので、ここで色々な新しい物を食べる機会があり、嬉しい事です。オーストラリアと比べたら、日本料理のサイズが小さいと思います。来たばかりの頃、ご飯を食べてもまだ食べたい気持ちがありました。でも、今は慣れて、「腹八分目」という文化が健康的にいいと思います。

最後に文化が同じ事について話したいです。ここで道を歩く途中、だれかが声をかけたら、すぐに挨拶できます。パースの人達も普通に道で会ったら挨拶するので、「小さな町は世界中で同じだ」と私は思いました。

新たな年の歩み
がはじまり、早くも
ひと月が経過しまし
た。賑やかだった団
らんの場もいつもの
風景に戻ったのでは
ないでしょうか。私
も懐かしい顔に再会
し、上島町を離れて
いる人達の為にも、
魅力ある町づくり
に取り組まなければ
ならないことを再認
識いたしました。

A black and white portrait of a middle-aged man with short, light-colored hair, smiling warmly. He is wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. The background is dark and out of focus.

一月三日には成人式、四日は仕事始めや県庁等への挨拶回り、五日には民主党との地域政策会議など、体は未だに正月休みの状態にも関わらず、頭はフル回転を強いられている状況です。

この原稿も魚島地区への新年挨拶回りの途中、魚島丸の船中で作成しています。窓から見える瀬戸内海の美しさを改めて実感しています。特に今の時期は海苔の最盛期であり、黒く艶やかに色付いた海苔網を船上に置き、収穫している風景は、極寒の中、作業をしている人達への感謝と共に、心に豊かさをもたらしてくれます。

二月の少年式は「立春」の日にあたり、春の訪れもあと少しになります。私は二月生まれのせい、か冬の空気も好きなので、春の芽吹きに期待を寄せながら、冬の恵みを十分に楽しみたいと思っています。

上村 俊之
上島町長